

【研究課題名】 524 心臓血管外科手術後の視機能障害が日常生活に与える影響についての検討

【実施責任者】 麻酔科学教室 学内講師 林 浩伸

【実施分担者】 麻酔科学教室 助教 野村 泰充  
中央手術部 学内講師 田中 優  
麻酔科学教室 教授 川口 昌彦  
眼科学教室 助教 岡本 全弘  
眼科学教室 准教授 松浦 豊明  
眼科学教室 教授 緒方 奈保子  
胸部心臓血管外科学教室 教授 谷口 繁樹

#### 【研究の意義】

心臓血管手術後の視機能障害は稀であるが、日常生活に影響する重大な問題である。最近の後ろ向き研究での結果では、心臓手術後の視機能障害の発生率は0.06-0.33%とされている。また近年、我々は人工心肺を併用した心臓血管外科手術後の視機能障害の発生率を前向きに検討し、無症候性と症候性を含めた視機能障害の発生率は11.4%（70症例中8症例）であった。今回、我々は視覚に関する健康関連QOLを日本語版 NEI VFQ-25 (The 25-item National Eye Institute Visual Function Questionnaire) を使って、人工心肺を併用した心臓血管外科手術後の視機能変化が日常生活に与える影響を評価したい。

#### 【研究の目的】

周術期に視機能障害が発生する可能性がある人工心肺を併用した予定心臓血管外科手術後に、視覚に関連した健康関連 QOL の変化を検討する。

#### 【研究の方法】

研究デザイン：前向き観察研究

研究対象者：人工心肺を併用した心臓血管外科手術を予定された症例

除外症例：意識障害・失明・言語障害など術前後のアンケート（NEI VFQ-25）と眼科診察（眼底検査、眼圧、視力検査）の施行が困難である患者。20歳未満。

人工心肺を併用した心臓血管外科手術の術前1週間以内、術後2週間、術後2ヶ月に日本語版 NEI VFQ-25 質問用紙を使って、視覚に関連した健康関連 QOL を測定する。日本語版 NEI VFQ-25 質問表は、患者自身が読んで回答してもらう。退院後の術後2ヶ月は、日本語版 NEI VFQ-25 質問表を患者自宅に郵送して、回答後に返送してもらう。また、術前後（手術前1週間以内と術後2週間頃）に眼科受診し、眼底検査、眼圧検査、視力検査を施行する。なお眼科検査は通常の保険診療内での治療とする。

#### 【NEI VFQ-25 (The 25-item National Eye Institute Visual Function Questionnaire)】

1998年に米国で視覚に関連した健康関連 QOL を測定する尺度として開発された NEI-VFQ (51項目) の短縮版で25項目から構成されており、すでに日本語版の信頼性・妥当性などの計量心理学的特性が検証済みである。

【研究機関名】 奈良県立医科大学 麻酔科学教室

【個人情報の扱い】 個人情報については、患者情報を外部ネットワークから遮断されたコンピューターで入力管理する。各症例で統計整理番号を割り付けし、統計学的処理は、患者ID、氏名、生年月日を削除し、別ファイルを作成したうえで、連結可能匿名化情報として、別のコンピューターにて行う。

#### 【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：麻酔科学教室 林 浩伸

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 842

TEL 0744-22-3051